

昭光通商

本店：東京都港区芝公園二丁目4番1号

【商号履歴】

昭光通商株式会社（1982年8月～）

光興業株式会社（1947年5月28日～1982年8月）

【株式上場履歴】

<東証1部> 1981年6月1日～

<東証2部> 1962年6月1日～1981年5月31日（1部に指定替え）

【合併履歴】

2000年4月 日 協同軽金属株式会社

1994年1月 日 昭光化学工業株式会社

1994年1月 日 横浜化学株式会社

1987年1月 日 昭興株式会社

1976年8月 日 昭栄興業株式会社

【沿革】

昭和22年5月 光興業株式会社(資本金18万円 本社 東京都中央区西八丁堀)を**昭和電工**株式会社及び**味の素**株式会社の支援のもとに、化学品並びに肥料の国内販売と輸出入を目的として設立。

昭和25年1月 大阪営業所(現在大阪支店)を開設。

昭和31年4月 福岡営業所(現在福岡支店)を開設。

昭和32年3月 名古屋営業所(現在名古屋支店)を開設。

昭和34年4月 川口工場を開設「溶解アセチレン」の生産開始。

昭和37年6月 東京証券取引所の市場第二部に株式を上場。

昭和40年2月 川口工場に肥料工場を開設、特許「アミノ肥料」「粒状カリアンモホス」「ネオブラックライト」の生産開始。

昭和44年12月 光興業(株)の碎石事業を分離独立させ、大分碎石株式会社(資本金500万円)を設立。

昭和47年10月 仙台営業所(現在仙台支店)を開設。

昭和48年9月 三重化成株式会社(資本金2,000万円)を合成樹脂原料の再生加工業として設立。(現・連結子会社)

昭和51年8月 **昭和電工**株式会社の全額出資化学品商社、昭栄興業株式会社と合併、資本金12億9,270万円になる。

昭和56年6月 東京証券取引所の市場第一部に株式を上場。

昭和57年7月 昭和培土株式会社(資本金9,900万円)を育苗用培土製造販売を目的として設立。(現・連結子会社)

昭和57年8月 商号を昭光通商株式会社に変更、本社を東京都港区西新橋に移転。

昭和61年12月 **昭和電工**株式会社に、ガス部門の営業譲渡。

昭和62年1月 **昭和電工**株式会社の全額出資不動産、保険代理業を営む昭興株式会社と合併、資本金46億4,179万円になる。

昭和62年12月 第三者割当増資により資本金を124億1,179万円に増資。

平成元年5月 資本金を44億4,000万円減資、新資本金79億7,179万円になる。

平成元年 6月 川口工場を閉鎖。

平成 6年 1月 昭光化学工業株式会社及び横浜化学株式会社を吸収合併、資本金の増減はなし。

平成 6年 5月 クリスタルスペシャリティーズ株式会社(資本金51米ドル米国コロラド州)をガリウム砒素基板の製造販売を目的に設立。

平成12年 4月 **昭和電工**株式会社の子会社でアルミニウム専門商社、協同軽金属株式会社と合併、資本金80億2,179万円になる。

平成12年 7月 本社を東京都港区芝公園に移転。

平成12年 8月 子会社大分碎石株式会社の所有全株式を譲渡。

平成17年10月 子会社クリスタルスペシャリティーズ株式会社の所有全株式を昭和電工(株)に譲渡。

平成19年 4月 韓国支店を開設。

平成19年 8月 昭光通商保険サービス株式会社(資本金2,000万円)を保険代理店業を目的として設立。(現・連結子会社)

平成19年11月 保険代理店業を会社分割し、昭光通商保険サービス株式会社に承継。

平成19年11月 台湾支店を開設。